

令和6年4月26日

伊豆の国市長 山下 正行 様

伊豆の国市行財政改革推進委員会

会長 小泉 祐一郎



第3次伊豆の国市行財政改革大綱後期行動計画の進捗管理について（答申）

令和6年3月25日付け伊国行経第21号の諮問事項について、下記のとおり答申します。

記

1 取組方針1「市民へのアプローチ」における取組みについて

- ・具体的な取組みは概ね計画通り進捗していますが、参考指標の設定根拠や数値の見直しを行い、より適切な評価と取組みの改善につなげてください。

2 取組方針2「行政の取組」における取組みについて

- ・職員の働き方に関する取組みが進んでいないように見受けられます。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組みの停滞は、多様化する行政ニーズへの対応に遅れが生じるだけでなく、庁内の業務改善も進まず、その結果、職員が疲弊してしまうおそれがあります。DXは、単に業務をデジタル化するだけのものではなく、DXによって業務の進め方が変わることには大きな意義がありますので、財政面等での課題もあろうかと思いますが、積極的に取り組むよう検討してください。
- ・職員を対象とした職場改善・満足度を測るアンケート調査は、その結果をどのように活用するのか明らかにすることが重要です。速やかに公開するよう努めてください。
- ・職員による業務の改善等の提案や成果報告ができる仕組みは、業務改善だけでなく職員の意識改革の取組みとしても有効と考えます。職員提案制度の廃止について再考ください。

3 その他の意見

- ・改革は、最終的な目的に向かって取り組むことが重要であり、当初の計画通りに進めることだけが正しいとは限りません。取組みを進めていく中で、別の方向性やより効果的な方法がある場合は、計画に拘ることなく柔軟に取り組んでください。
- ・その他、各委員から意見は別紙議事録を参照ください。